

大船渡・住田定住自立圏共生ビジョン

令和2年3月27日

岩手県大船渡市

目 次

1 定住自立圏の名称	
(1) 定住自立圏の名称	1
(2) 圏域を形成する市町の名称	1
2 定住自立圏共生ビジョンの目的	
(1) 定住自立圏共生ビジョンの目的	1
(2) 定住自立圏共生ビジョンの期間	1
3 圏域の概況	
(1) 圏域市町の概況	2
(2) 人口の推移	3
(3) 都市機能の集積状況	4
4 圏域の将来像	7
5 具体的な取組	
(1) 体系図	8
(2) 生活機能の強化	9
(3) 結びつきやネットワークの強化	29
(4) 圏域マネジメント能力の強化	33
資料編	
大船渡・住田定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱	36
大船渡・住田定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿	37

1 定住自立圏の名称

(1) 定住自立圏の名称

大船渡・住田定住自立圏

(2) 圏域を形成する市町の名称

大船渡市及び住田町

2 定住自立圏共生ビジョンの目的

(1) 定住自立圏共生ビジョンの目的

本ビジョンは、大船渡市と住田町の間で締結した定住自立圏形成協定に基づき、魅力ある定住自立圏を形成するため、圏域全体の将来像やその実現に向けて推進する具体的な取組内容を明らかにするものです。

定住自立圏として、互いに連携・協力し、役割を分担しつつ、圏域住民が健康で安心して暮らすために必要な生活機能の確保やそれぞれの地域資源などを活用した圏域全体の活性化を図るため、本ビジョンにおける分野ごとの具体的な取組を通じて、各種支援やサービスの充実、生活利便性の向上、産業の活性化などを推進し、誰もが住み続けたいと思えるような魅力ある圏域を形成します。

(2) 定住自立圏共生ビジョンの期間

令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの5年間とし、毎年度、所見の見直しを行うものとします。

3 圏域の概況

(1) 圏域市町の概況

本圏域は、大船渡市及び住田町で構成され、岩手県の東南部に位置しています。

圏域の面積は約 660 km²で、そのうち森林面積が 563.7 km²を占め、人口密度は 62.0 人/km²（令和元年 10 月 1 日現在）となっています。東南側は、急峻な山地が海岸まで迫る典型的なリアス海岸を有して太平洋に面し、内陸部にかけては、圏域の大部分が山林で占められ、その麓の平坦地に集落が形成されています。

① 大船渡市

- ・ 人口：35,912 人、世帯数：14,937 世帯（令和元年 11 月末日現在）
- ・ 面積：322.51 km²

大船渡市は、明治 12 年に盛町に郡役所が設置され、気仙地域の中心地として様々な分野で重要な役割を担い、明治 30 年代に大船渡港を生かした臨海型の工業都市建設が構想され、工業の導入が図られました。昭和 27 年に 2 町 5 村が合併して市制を施行し、その後、低開発地域工業開発促進法による工業開発地域に指定され、臨海型工業都市の形成を目指して、積極的に工業導入を図るとともに、漁業や水産加工業が盛んに営まれ、工業・水産業のまちとして発展し、平成 13 年には、気仙郡三陸町と合併し、合併建設計画に基づき、各種都市基盤や産業基盤の整備を進めてきました。

東日本大震災では、未曾有の被害を受けましたが、平成 23 年 10 月に令和 2 年度を目標年次とする大船渡市復興計画を策定し、市民生活や生業の再建を始め、災害に強いまちづくりに官民一体となって取り組むとともに、将来都市像「ともに創る 三陸の地に輝き躍動するまち 大船渡」の実現に向け、人口の減少と少子高齢化の進行に歯止めをかけるべく、将来に向けた地方創生のまちづくりを進めています。

② 住田町

- ・ 人口：5,394 人、世帯数：2,159 世帯（令和元年 11 月末日現在）
- ・ 面積：334.84 km²

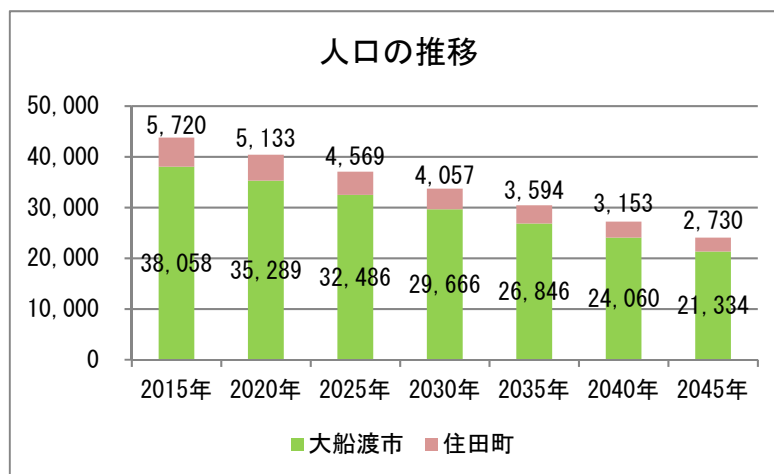
住田町は、古くは金の産地として多くの労働者、商人が集まり、内陸部と沿岸部を結ぶ宿場町として発展してきました。昭和 30 年 4 月に世田米町、上有住村、下有住村の 1 町 2 村が合併し、住田町が誕生しました。農林業を基幹産業とし、林業については、森林・林業の活性化を図るだけでなく、森林資源の有効活用や環境に配慮した森林経営の確立も合わせてまちづくりを進め、公共施設における町産材の利用を図るとともに、木質バイオマスエネルギーの利用を進め、また、農業については、耕畜連携による循環型農業の構築や農林商工連携による地域資源の活用の取組を進めてきました。

人口減少と高齢化が進む中で、山積する課題を解決するため、「豊かな緑と水に育まれ安らぎとにぎわいが調和する共生の町住田」を基本理念とし、「医・食・住」の充実に重点的に取り組むとともに、若者や女性を始めとする多様な存在を認め合い、お互いを支え合い誰もが活躍できる地域共生社会の実現、更には東日本大震災後方支援自治体としてのつながりや「関係人口」との交流を広げ、人口減少社会の将来を見据えたまちづくりを進めています。

(2) 人口の推移

令和元年11月末日時点の圏域の総人口は41,306人で、直近の平成27年(2015年)国勢調査人口43,778人と比較して5.6%(2,472人)減少しています。

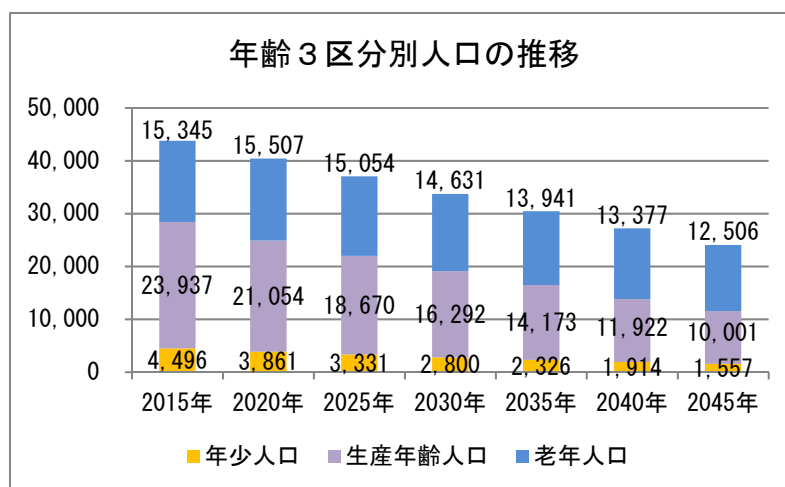
また、国立社会保障・人口問題研究所(以下、「社人研」という。)が発表した「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」によれば、30年間(平成27～令和27年)(2015～2045年)で19,714人減少すると見込まれています。



出典：2015年は国勢調査、2020年以降は社人研(平成30年3月公表)データ

圏域の年齢3区分別人口構成比は、平成27年度(2015年度)以降、年少人口(0～14歳)及び生産年齢人口(15～64歳)が一貫して減少するとともに、老年人口(65歳～)も令和2年度以降は減少に転じると見込まれています。

平成27年国勢調査人口における年齢3区分別の人口割合は、年少人口10.3%(4,496人)、生産年齢人口54.7%(23,937人)、老年人口35.0%(15,345人)となっていますが、令和27年(2045年)の推計では、年少人口6.5%(1,557人)、生産年齢人口41.5%(10,001人)、老年人口52.0%(12,506人)と見込まれ、少子高齢化が進行することが予想されています。



出典：2015年は国勢調査、2020年以降は社人研(平成30年3月公表)データ

(3) 都市機能の集積状況

分野	都市機能	施設名
医療	公的医療機関	岩手県立大船渡病院 大船渡市国民健康保険綾里診療所・越喜来診療所・吉浜診療所・歯科診療所
	初期救急医療機関	岩手県立大船渡病院 在宅当番医（大船渡市・陸前高田市・住田町が気仙医師会及び気仙歯科医師会に委託）
	二次救急医療機関	岩手県立大船渡病院
	三次救急医療機関	岩手県立大船渡病院救命救急センター
	市内医療機関	岩手県立大船渡病院 一般診療所20（大船渡市国民健康保険綾里診療所・越喜来診療所・吉浜診療所、大津医院、山崎内科医院、鳥羽整形外科医院、地ノ森クリニック、医療法人きくた、菊池医院、飯塚眼科医院、山浦医院、えんどう消化器科内科クリニック、及川皮膚科クリニック、いとう耳鼻咽喉科クリニック、岩渕内科医院、滝田医院、ちば内科診療所、うのうらクリニック、星こどもクリニック、石倉クリニック） 歯科診療所17（大船渡市国民健康保険歯科診療所、後藤歯科医院、ほりのうち歯科医院、ちば歯科医院、菊池歯科クリニック、いわぶち歯科、渡辺歯科クリニック、広沢歯科医院、及川歯科医院、細川歯科医院、いいだ歯科クリニック、橋爪歯科医院、峰岸歯科医院、くまかみ歯科クリニック、越喜来歯科診療所、阿部歯科医院、気仙訪問歯科診療所）
福祉	障害者支援施設など	吉浜荘、朋友館、慈愛福祉学園、慈愛福祉学園デイサービスセンター、星雲工房、ゆうき社、@かたつむり、エクセルシオール
	高齢者福祉施設	デイサービスセンターなど14（末崎町・ぬくもり・気仙苑・大船渡市・JAおおふなと立根・JAおおふなと日頃市・うえのケアサービス・さんりくの園・綾の里・丸森・ふくろう機能訓練センター・こころ・とまり・であいの樹） ショートステイ7（ひまわり・富美岡荘・気仙苑・蔵ハウス大船渡・さんりくの園・つばきの丘・百年の里） 認知症デイサービス（やすらぎ） 小規模多機能ホーム6（後ノ入・平・さんりく・つばきの丘・綾の里・ひころいちの郷） グループホーム5（さんりく・綾の里・まちぐるみ・平・後ノ入） 施設サービス8（ひまわり・富美岡荘・気仙苑・蔵ハウス大船渡・つばきの丘・成仁ハウス百年の里・さんりくの園(2)） 養護(盲)老人ホーム（祥風苑）

分野	都市機能	施設名
福祉	児童福祉施設 など	<p>保育所8（大船渡・明和・末崎・赤崎・蛸ノ浦・猪川・立根・日頃市保育園）</p> <p>認可外保育施設（ドレミ保育所）</p> <p>幼稚園（海の星幼稚園）</p> <p>認定こども園4（盛・綾里・越喜来・吉浜こども園）</p> <p>放課後児童クラブ10（ゆうゆう、さくらりっこ、末崎学童保育会希望の丘、にこにこ浜っ子クラブ、たっせ学童クラブ、うみねこキッズ、キッズクラブいかわ、五葉キッズ、キッピン学童クラブ、りょうりキッズ）</p> <p>地域子育て支援センター4（つどいの広場わいわいステーション、おひさま広場、ひだまり、すくすくルーム）</p> <p>児童発達支援施設2（ひまわり教室、慈愛福祉学園デイサービスセンター）</p> <p>放課後等デイサービス施設（慈愛福祉学園デイサービスセンター）</p>
教育	大学	北里大学海洋生命科学部附属三陸臨海教育研究センター
	高等学校	岩手県立大船渡高等学校、大船渡東高等学校
	特別支援学校	岩手県立気仙光陵支援学校
	認定職業訓練校	職業訓練法人気仙職業訓練協会気仙高等職業訓練校
文化・スポーツ	文化ホール	市民文化会館、市民交流館・カメラアホール、三陸公民館、防災観光交流センター
	図書館	市立図書館
	博物館	市立博物館
	スポーツ施設	市民体育館、テニスコート、弓道場、田中島グラウンド、三陸B&G海洋センター、赤崎グラウンド、市営球場、山村広場、三陸総合運動公園
産業	農林水産業・観光関連施設	鹿の森公園（森林体験交流センター）、森林総合利用施設（ふれあいランド尾崎岬）、総合交流ターミナル施設（世界の椿館・碁石）、大船渡市魚市場、碁石海岸キャンプ場、碁石海岸レストハウス、綾里・越喜来浪板・吉浜海水浴場
	大規模商業施設	大船渡ショッピングセンター、ショッピングプラザマイヤ、サンデー大船渡店、マイヤ赤崎店、（仮称）マルニ大船渡ショッピングセンター、南三陸ショッピングセンター、キャッセン大船渡ショッピングセンター、キャッセン大船渡 キャッセンモール&パーティオ

※大規模商業施設は、大規模小売店舗立地法に基づく届出店舗の名称を記載

分野	都市機能	施設名
産業	金融機関	銀行3（岩手銀行盛・大船渡支店、東北銀行大船渡支店、北日本銀行大船渡支店） 信用金庫2（気仙沼信用金庫盛・大船渡支店、東北労働金庫大船渡支店） 農業協同組合（本店、大船渡・猪川・三陸支店） 信用漁業協同組合（大船渡・綾里支店、末崎・赤崎営業店、越喜来・吉浜出張店） 郵便局（大船渡・大船渡駅前・細浦・赤崎・大船渡猪川・綾里・三陸・吉浜郵便局）
交通	鉄道	三陸鉄道（7駅）、JR大船渡線（BRT：バス高速輸送システム／6駅）
	国道	国道45号、国道107号
	道の駅	道の駅「さんりく」
行政	国の出先機関など	三陸国道事務所大船渡維持出張所、大船渡区検察庁、三陸中部森林管理署、環境省自然環境局大船渡自然保護官事務所、函館税関大船渡税関支署、大船渡税務署、盛岡地方法務局大船渡出張所、気象庁大気環境観測所、大船渡特別地域気象観測所、大船渡労働基準監督署、大船渡公共職業安定所
	県の出先機関など	大船渡警察署、沿岸広域振興局大船渡地区合同庁舎、大船渡職業能力開発センター、大船渡農業改良普及センター、大船渡保健所
広域行政	消防	大船渡地区消防組合
	し尿処理	気仙広域連合
	ごみ処理	大船渡地区環境衛生組合
その他	火葬場	おおふなと斎苑

4 圏域の将来像

大船渡市と住田町は、通勤や通学などを始め、共通の生活圏域として密接な関わりがあることから、一般廃棄物の収集や消防に関する事務について、一部事務組合を設置して共同で事務処理を行うなど、連携して圏域の住民に行政サービスを提供するとともに、その他の分野においても、相互に協力しながら、多様な取組を進めてきました。

しかしながら、急速に進む人口減少・少子高齢化により、生産年齢人口の減少による地域経済の縮小、担い手不足による地域コミュニティの衰退などを招き、今後、大きな影響を及ぼすことが懸念される中、人工知能や情報通信技術といった技術革新による産業構造の変化、道路などの交通網の発達により、経済圏・生活圏は、個々の自治体の枠を越えて広域化しており、こうした状況を背景に住民ニーズも多様化・高度化しています。

両市町においては、人口減少に歯止めをかけるべく、地方創生に向けた取組などを推進していますが、今後のまちづくりにおいては、SDGs（持続可能な開発目標）の理念や目標を踏まえた取組、テクノロジーを活用した超スマート社会「Society5.0」の実現に向けた技術の導入といった新たな視点を加え、共通の課題の解決に向け、圏域全体として住民の生活に必要な機能を確保・充実させ、定住の促進に向けた魅力ある地域づくりを進めるとともに、広域的な観点からサービスを提供することが求められてきます。

このことから、大船渡市及び住田町は定住自立圏を形成し、互いの意思を尊重して更に連携を深めながら、将来にわたって安心して暮らすことができる持続可能な地域社会の形成に向けて、圏域における人口減少の抑制に資する各種施策に中長期的な視野で取り組むものです。

【圏域が目指す将来人口】

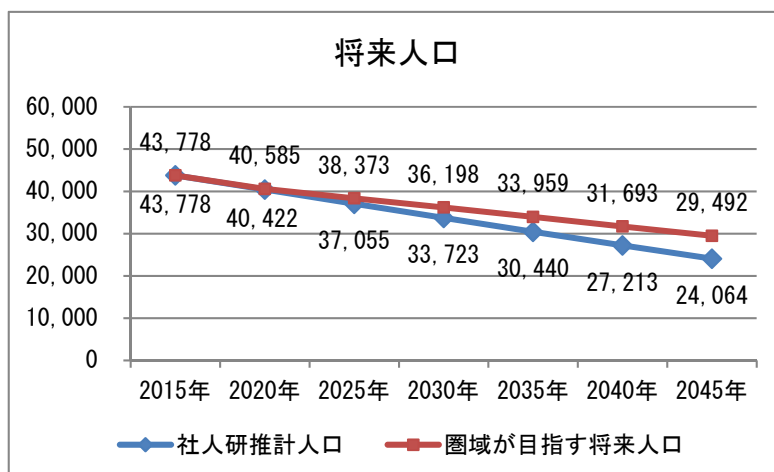
(単位：人)

年 区分	2015年 H27年	2020年 R2年	2025年 R7年	2030年 R12年	2035年 R17年	2040年 R22年	2045年 R27年
社人研 推計人口	43,778	40,422	37,055	33,723	30,440	27,213	24,064
圏域が目指す 将来人口	43,778	40,585	38,373	36,198	33,959	31,693	29,492

出典

上段：2015年は国勢調査、2020年以降は社人研（平成30年3月公表）データ

下段：2015年は国勢調査、2020年以降は大船渡市人口ビジョン案及び住田町人口ビジョン案の合算データ



5 具体的な取組（大船渡市と住田町で締結した定住自立圏形成協定に基づく取組）

(1) 体系図

生活機能の強化	医療	地域医療体制の充実	1 地域医療介護情報ネットワーク等事業
			2 在宅当番医制運営事業
	福祉	地域福祉の充実	3 障害支援区分認定審査会事業
			4 障害者相談支援事業
			5 基幹相談支援センター等機能強化事業
			6 地域活動支援センター事業
			7 気仙地域障がい者自立支援協議会事業
			8 公共文化施設相互利用促進事業
	教育	公共施設の利用促進	9 図書資料の相互貸借サービス事業
			10 公共スポーツ施設相互利用促進事業
			産業振興
	12 広域物産振興事業		
	13 広域観光振興事業		
	産業振興	産業振興の推進	14 グリーン I L C 推進事業
			15 遊休農地活用事業
			16 森林山村対策事業
			17 有害鳥獣対策事業
	その他	廃棄物リサイクルの推進	18 一般廃棄物分別収集事業
			19 地球温暖化防止対策推進事業
		消費生活対策の充実	20 消費者保護対策事業
結びつきやネットワークの強化	地域公共交通	交通ネットワークの維持・確保	21 地域間幹線系統に係る地域公共交通確保維持事業
	地域内外の住民との交流・移住促進	移住・定住の促進	22 移住・定住促進事業
			23 結婚相談・支援センター共同運営事業
			24 気軽な出会いの場創出事業
圏域マネジメント能力の強化	圏域内市町の職員の交流	職員合同研修などの実施	25 これからの時代に活躍する人材育成事業
			26 A I ・ R P A 導入事業
			27 男女共同参画推進事業

(2) 生活機能の強化

① 医療

【協定の内容】 地域医療体制の充実

取組の内容	圏域住民が安心して暮らすことができるよう、医療機関や介護事業所、関係機関などと連携を図りながら、地域医療体制の充実に向けて取り組む。
-------	--

【具体的な取組】

事業名	1 地域医療介護情報ネットワーク等事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	ICTネットワークを活用した医療・介護事業の効率化とサービス向上を図るため、一般社団法人未来かなえ機構が運営する「未来かなえネット」について、住民登録者、利用医療機関などの加入促進、システムやネットワーク機能の強化、近隣医療圏との連携に向けた支援を行う。					
期待される効果	ネットワークの広域化、情報共有による医療機関の連携強化などにより、効率的な医療・介護サービスが提供され、医療費負担の軽減や円滑な入退院支援、自宅などにおける適切な治療の実施が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		12,575	14,311	14,311	14,311	14,311
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	両市町は、当該ネットワークの充実・強化に向けた支援を行うとともに、運営に要する応分の費用を負担する。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標	現状値 (H30)		目標値 (R6)		
	医療等情報提供同意者加入率	17.4%		30.0%		
	地域医療情報ネットワークシステム参加施設数(累計)	37 施設		60 施設		

大船渡市 予算事業名	未来かなえ機構運営負担金事業(一般分)、母子保健事業(産婦人科・小児科オンライン分)
住田町 予算事業名	未来かなえ機構負担金事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	2 在宅当番医制運営事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	圏域住民の初期救急医療体制を確保するため、気仙医師会及び気仙歯科医師会と連携し、開業医などの医療機関による輪番制により、休日の日中における医科・歯科医療機関での診療を実施するとともに、当番医療機関について住民へ周知を図る。					
期待される効果	初期救急医療体制の確保が図られるとともに、24 時間体制で救急患者を受け入れている県立大船渡病院救急医療センターの負担軽減が期待される。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		3,252	3,252	3,252	3,252	3,252
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	大船渡市は、医科診療について気仙医師会に業務を委託する。両市町は、休日の日中における医科・歯科医療機関での診療の実施に要する応分の費用を負担するとともに、当番医療機関の周知を図る。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標			現状値 (H30)	目標値 (R6)	
	一日平均患者数(在宅当番医制)			26.48人	28.00人	
	一日平均患者数(在宅歯科当番医制)			4.51人	6.00人	

大船渡市 予算事業名	在宅当番医制運営事業
住田町 予算事業名	在宅当番医運営事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

② 福祉

【協定の内容】 地域福祉の充実

取組の内容	圏域住民が安心して暮らすことができるよう、関係機関などと連携を図りながら、適切な支援体制に基づく地域福祉の充実に向けて取り組む。
-------	--

【具体的な取組】

事業名	3 障害支援区分認定審査会事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	障害者総合支援法に基づく障害程度区分認定業務について、共同で障害支援区分認定審査会を設置し、運営する。					
期待される効果	共同で審査会を設置・運営することにより、効率的かつ公平な障害程度区分審査の実施が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		1,904	1,904	1,904	1,904	1,904
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	両市町は、共同で障害支援区分認定審査会を設置し、運営に必要な応分の費用を負担する。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標	現状値 (H30)		目標値 (R6)		
	審査件数	124 件		109 件		

大船渡市 予算事業名	自立支援給付事業
住田町 予算事業名	自立支援給付事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	4 障害者相談支援事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	障害者総合支援法に基づく障害者相談事業について、共同で事業を実施する。					
期待される効果	障害のある人の日常生活や福祉サービスなどの相談について、適切な相談支援体制の確保が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		11,800	11,800	11,800	11,800	11,800
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	両市町は共同で相談支援業務を委託し、相談支援体制の確保に要する応分の費用を負担する。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標			現状値 (H30)	目標値 (R6)	
	相談支援件数			1,981 件	2,460 件	

大船渡市 予算事業名	障害者相談支援事業
住田町 予算事業名	障害者相談支援事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	5 基幹相談支援センター等機能強化事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	障害者総合支援法に基づく障害者相談支援機能強化事業について、共同で事業を実施する。					
期待される効果	専門的な知識を有する職員の配置により、高度な障害者相談に対する支援機能の強化が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		4,394	4,394	4,394	4,394	4,394
活用を想定する補助制度等	地域生活支援事業					
役割分担	両市町は、共同で専門職員を配置し、相談支援機能強化に必要なとなる応分の費用を負担する。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標			現状値 (H30)	目標値 (R6)	
	相談支援件数			1,141件	1,200件	

大船渡市 予算事業名	基幹相談支援センター等機能強化事業
住田町 予算事業名	基幹相談支援センター等機能強化事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	6 地域活動支援センター事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	障害者総合支援法に基づき法人が行う地域活動支援センター事業について、運営補助を行う。					
期待される効果	在宅の障害のある人に、通所による創作活動や生産活動、地域社会との交流の場を提供することにより、自立した社会生活の促進が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		13,014	13,014	13,014	13,014	13,014
活用を想定する補助制度等	地域生活支援事業（機能強化事業分）					
役割分担	両市町は、地域活動支援センターを運営する法人に対し、必要となる応分の費用を補助する。					
重要業績評価指標（KPI）	指 標			現状値 (H30)	目標値 (R6)	
	創作活動・活動支援・地域交流件数			1,898 件	2,100 件	

大船渡市 予算事業名	地域活動支援センター事業
住田町 予算事業名	地域活動支援センター事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	7 気仙地域障がい者自立支援協議会事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	障害者総合支援法に基づく障がい者自立支援協議会を共同で設置する。					
期待される効果	障害のある人の自立した社会生活を支援する体制の確保が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	両市町は、共同で自立支援協議会を設置・運営する。					
重要業績評価指標 (KPI)	指 標			現状値 (H30)	目標値 (R6)	
	協議会の開催回数			2回	2回	

大船渡市 予算事業名	—
住田町 予算事業名	—

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

③ 教育

【協定の内容】 公共施設の利用促進

取組の内容	圏域住民が健康で文化的な生活を営むための利便性の向上を図るため、文化施設や体育施設などの公共施設の相互利用の促進に向けて取り組む。
-------	---

【具体的な取組】

事業名	8 公共文化施設相互利用促進事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	両市町主催事業などの公共文化施設使用料を減免とし、公共文化施設の相互利用の促進を図るとともに、圏域の公共文化施設で開催されるイベントなどの情報について、住民へ周知を図る。					
期待される効果	両市町が所有する公共文化施設の有効活用が図られるとともに、利用者の増加が期待される。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施（大船渡市）	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	事業の検討（住田町）	⇒				
事業費見込(千円)		350	350	350	350	350
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	大船渡市は、大船渡市民文化会館における住田町主催事業などの減免措置を継続し、住田町は、住田町農林会館における大船渡市主催事業などを減免とする。両市町は、公共文化施設において開催されるイベントなどの情報について、相互に周知を図る。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標	現状値 (H30)		目標値 (R6)		
	減免対象行事件数	1 件		4 件		

大船渡市 予算事業名	総務費（市民文化会館使用料）
住田町 予算事業名	農業費（農林会館使用料）

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	9 図書資料の相互貸借サービス事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	利用者のリクエストに応じて、大船渡市立図書館及び住田町中央公民館図書室における図書資料を相互に貸借し、図書館サービスの充実を図る。					
期待される効果	図書館サービスが充実し、利用者の利便性が向上する。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		50	50	50	50	50
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	両市町は、それぞれが所有する図書資料を相互に貸借し、利用者の利便性の向上に資する貸出サービスを提供する。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標			現状値 (H30)	目標値 (R6)	
	相互貸借サービス件数			0 件	10 件	

大船渡市 予算事業名	総務費（相互貸借の送料）
住田町 予算事業名	公民館費（相互貸借の送料）

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	10 公共スポーツ施設相互利用促進事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	スポーツ・レクリエーション活動の活性化及び住民交流を促進するため、圏域における公共スポーツ施設で開催されるイベントなどの情報について、住民へ周知を図る。					
期待される効果	多様化する住民ニーズに対応するとともに、圏域内の公共スポーツ施設の利用者の増加が期待される。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	両市町は、それぞれが所有するスポーツ施設の利便性の向上に努め、公共スポーツ施設で開催されるイベントなどの情報について、相互に周知を図る。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標	現状値 (H30)		目標値 (R6)		
	スポーツ施設の延べ利用者数(大船渡市)	159,371人		170,000人		
	体育施設の延べ利用者数(住田町)	48,891人		55,000人		

大船渡市 予算事業名	—
住田町 予算事業名	—

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

④ 産業振興

【協定の内容】 広域観光の推進

取組の内容	圏域内の自然や文化などの地域資源を生かした観光振興を図るため、外国人を含む観光客の受入体制の整備や観光・物産素材の発掘、圏域外への情報発信やPRなどによる観光誘客及び販路拡大に向けて取り組む。
-------	--

【具体的な取組】

事業名	11 外国人観光客誘客促進事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	外国人観光客向けの観光ルートの造成や受入体制の整備を図るとともに、広域観光プロモーションを実施する。 また、国際交流員による魅力ある観光情報の発信などにより、外国人観光客の誘客につなげる。					
期待される効果	外国人観光客の圏域への誘客促進により、外国人観光客の増加が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		13,503	8,159	8,514	5,192	3,160
活用を想定する補助制度等	東北観光復興対策交付金					
役割分担	両市町は、連携して外国人観光客の誘客促進に向けた取組を推進し、事業に要する応分の費用を負担する。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標			現状値 (H30)	目標値 (R6)	
	両市町の外国人観光客入込数(暦年)			761人	1,485人	

大船渡市 予算事業名	外国人観光客受入対応事業
住田町 予算事業名	観光費(広域連携インバウンド対策事業)

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	12 広域物産振興事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	三陸けせん希望ストリート連絡協議会や関係団体と連携して、圏域で生産・加工された商品を紹介する機会を設け、圏域事業者などへ地場食材の活用の浸透を図るとともに、販路拡大を目的として、管外事業者などへ商品紹介などをする商談会を開催する。					
期待される効果	管内で生産・加工された商品などを商談会で紹介することにより、販路拡大につながる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		650	650	650	650	650
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	両市町は、三陸けせん希望ストリート連絡協議会や関係団体と連携して、管内で生産・加工された商品などの販路拡大に向けた商談会に取り組む。					
重要業績評価指標 (KPI)	指 標			現状値 (H30)	目標値 (R6)	
	三陸けせんマチナカ商談会商談件数			127件	150件	

大船渡市 予算事業名	物産販路拡大事業
住田町 予算事業名	商工振興費（販路開拓支援事業）

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	13 広域観光振興事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	五葉山自然保護協議会、いわて観光キャンペーン推進協議会、岩手県観光協会、三陸ジオパーク推進協議会、三陸ジオパークけせん地域協議会の各団体において、三陸沿岸地域のゲートウェイである高田松原津波復興祈念公園を起点とした圏域への観光客の周遊を促すため、三陸ジオパークなどを始めとしたそれぞれの観光資源を活用した広域観光の取組を推進する。					
期待される効果	三陸ジオパークや五葉山などの観光資源を活用した広域観光の取組により、観光客の周遊による圏域への誘客促進が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		2,821	2,821	2,821	2,821	2,821
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	両市町は、関係団体と連携して、情報交換や地域資源の調査研究を行い、広域観光の推進に取り組む。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標			現状値 (H30)	目標値 (R6)	
	両市町の観光客入込数(暦年)			788,603人	947,000人	

大船渡市 予算事業名	広域連携観光振興事業
住田町 予算事業名	観光費

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【協定の内容】 産業振興の推進

取組の内容	圏域内の産業特性を生かした産業・経済の活性化を図るため、共通の地域資源を有する第一次産業の振興、国際リニアコライダー（I L C）の誘致・実現などを見据えた新たな展開の創出に向けて取り組む。
-------	---

【具体的な取組】

事業名	14 グリーン I L C 推進事業（※1）					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	グリーン I L C の基本概念を基に、圏域の地域資源を生かした木質バイオマスエネルギーの活用を進めるほか、工場などからの排熱回収による地域エネルギーの供給体制の構築を図る。 また、I L C 関連施設の木造化により地元産木材の利用を促す。					
期待される効果	再生可能エネルギーや排熱回収技術の活用により、地球環境に優しい低炭素社会の形成、I L C 関連施設の木造化を契機とした地元産木材の需要増加による圏域の林業などの振興が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		4,033	1,629	1,629	1,629	1,629
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	大船渡市は、排熱回収技術を活用した地域エネルギーの供給体制の構築に係る検討を進めるとともに、I L C 関連施設の木造化により地元産木材の利用を I L C 関係者に働きかける。 住田町は、木質バイオマスエネルギーの利用拡大、I L C 関連施設の木造化に伴う地元産木材の安定供給体制の構築を図る。					
重要業績評価指標（K P I）	指 標	現状値 (H30)		目標値 (R6)		
	I L C 排熱回収・再利用技術による地域エネルギー供給体制の確立に向けた検討・準備	—		排熱回収・輸送システムの確立		
	I L C 関連施設における木材需要の動向に注視し、地元産材を安定的に供給できる体制の構築・強化に向けた検討・準備	—		I L C 関連施設における地元産材の利用		

大船渡市 予算事業名	国際リニアコライダー誘致促進事業
住田町 予算事業名	再生可能エネルギー活用推進事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

※1 グリーン I L C

廃熱回収技術の活用など持続可能なエネルギー供給による国際リニアコライダー（I L C）のこと。

【具体的な取組】

事業名	15 遊休農地活用事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	遊休農地の有効活用を図るため、共同で研修会などを実施しながら、農地としての利用促進に向けた取組を推進する。					
期待される効果	遊休農地が有効活用されるとともに、農作物などの収穫量の増加により農業所得の増加が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		500	1,000	1,000	1,000	1,000
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	大船渡市では、椿の利活用事業の促進を図るため、椿の実集めや遊休農地への椿の苗木の植栽などを実施し、住田町では、飼料用トウモロコシの作付けなど、遊休農地を活用した作物の栽培についての調査研究を実施しており、両市町が連携して、研修会などを実施しながら遊休農地の利用促進に向けて取り組む。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標	現状値 (H30)		目標値 (R6)		
	遊休農地の新規作付面積(累計)	68 a		2ha		

大船渡市 予算事業名	椿油産地化推進事業
住田町 予算事業名	飼料作物実証試験事業、農業生産振興事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	16 森林山村対策事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	私有林の適正な保育などを推進し、山林の公益的機能の増進を図るため、私有林の適正な管理に係る取組を支援するとともに、担い手育成・確保のための人材育成対策について、各種研修会の共同実施などに取り組む。					
期待される効果	山林保全の取組強化による温室効果ガスの排出量削減、災害防止などが図られるとともに、林業に関わる新たな担い手の確保及び経済林としての価値の向上により、林業経営の活性化につながる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		33,088	33,910	33,691	32,635	38,113
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	両市町は、森林所有者から受託して行う事業への助成を行うとともに、活動組織が実施する里山林などの保全管理、山林活性化の取組、担い手育成のための研修会の開催などに共同で取り組む。 住田町は、ICTを活用したスマート林業の導入促進に向けた研修会などについて、大船渡市と情報共有を図りながら、気仙地方森林組合と連携して取り組む。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標	現状値 (H30)		目標値 (R6)		
	保全事業実施済面積	81ha		100ha		
	研修会の開催回数	0回		2回		

大船渡市 予算事業名	山林・山村対策事業、森林・山村多面的機能発揮対策事業、野生鳥獣共存の森整備事業
住田町 予算事業名	林業担い手対策事業、林業機械化研修補助金、森林・山村多面的機能発揮対策事業、FSCの森整備事業、FSC森林認証高齢級間伐事業、林業振興対策事業、林地流動化再造林推進事業、航空レーザー測量事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	17 有害鳥獣対策事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	五葉山系で隣接する両市町において、シカやサルなどによる農林業被害を抑制するため、先進的あるいは広域連携での取組事例を調査研究するとともに、捕獲を担う狩猟者を確保・育成するため、新規狩猟者などに対する助成制度の充実や研修機会の創出を図る。					
期待される効果	連携して捕獲及び被害防止対策に取り組むことにより、人里での活動範囲を縮小させ、農作物被害の削減などが図られるとともに、捕獲を担う狩猟者への支援により、捕獲活動などの維持継続につながる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		45,405	46,520	46,520	46,520	46,520
活用を想定する補助制度等	鳥獣被害防止総合支援事業費補助金					
役割分担	両市町は、被害・出没状況の把握に努め、被害対策、新規狩猟者などへの助成、被害防除対策の普及推進、新たな担い手確保、有害鳥獣の捕獲強化、ICTを活用した新たな技術の導入に向けた実証を実施し、効果を検証しながら、地域への普及を目指す。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標	現状値 (H30)		目標値 (R6)		
	シカ年間捕獲頭数	3,485 頭		3,900 頭		
	狩猟免許取得者数(累計)	100 人		105 人		

大船渡市 予算事業名	シカ防護網普及事業、鳥獣被害防止対策事業、大船渡市鳥獣被害対策推進員設置事業、大船渡市鳥獣被害対策実施隊設置事業
住田町 予算事業名	シカ防護網等緊急設置事業、鳥獣被害防止総合支援事業、住田町狩猟免許等取得補助金、緊急捕獲活動支援事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

⑤ その他

【協定の内容】 廃棄物リサイクルの推進

取組の内容	圏域内における循環型社会の形成を図るため、排出される廃棄物を資源として有効利用するリサイクル体制の確立に向けて取り組む。
-------	--

【具体的な取組】

事業名	18 一般廃棄物分別収集事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	家庭から排出されるプラスチック類、紙類製品などを「再利用ごみ」として分別収集し、市内のセメント工場で引き続き安全性を確保した上で、資源（燃料、原料）として利用する取組地域を圏域に拡大する。					
期待される効果	資源の有効利用が更に推進されるとともに、スケールメリットによる事業経費の節減、廃棄物排出量の削減、二酸化炭素排出量の削減が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	両市町による実施		⇒	⇒	⇒	⇒
	実施に係る検討（住田町）	⇒	⇒			
事業費見込(千円)		18,500	27,500	31,000	31,000	31,000
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	両市町は、関係機関や団体との調整などについて協力・支援するとともに、事業の実施に要する応分の費用を負担する。					
重要業績評価指標（KPI）	指 標			現状値 (H30)	目標値 (R6)	
	再利用ごみ収集量			0 t	600 t	
	再利用ごみ収集に伴う温室効果ガス削減量			0t-CO ₂	1,500 t -CO ₂	

大船渡市 予算事業名	一般廃棄物試験分別収集事業
住田町 予算事業名	一般廃棄物分別収集事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	19 地球温暖化防止対策推進事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	地球温暖化防止対策の推進を図るため、エコライフ推進事業やエコバッグ推進キャンペーン、環境出前講座などの各種事業を連携して推進し、両市町の住民、事業者などの環境への意識向上に向けた啓発に取り組む。					
期待される効果	地球温暖化防止に向けた意識の向上により、圏域内における二酸化炭素排出量の削減が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	大船渡市は、地球温暖化対策事業などを推進するとともに、共同で実施する事業の調整を図る。 住田町は、地球温暖化対策事業などを推進する					
重要業績評価指標(KPI)	指 標	現状値 (H30)		目標値 (R6)		
	環境出前講座の開催回数	0回		20回		

大船渡市 予算事業名	—
住田町 予算事業名	—

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【協定の内容】 消費生活対策の充実

取組の内容	圏域住民の消費生活における犯罪などの被害を防ぎ、安全を確保するため、消費生活センターの機能強化に向けて取り組む。
-------	--

【具体的な取組】

事業名	20 消費者保護対策事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	共同運営している大船渡市消費生活センターにおいて、消費生活相談（訪問販売、悪質商法、消費者金融からの借入れ相談など）に対応する。					
期待される効果	情報共有などにより、消費者の被害拡大の未然防止が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		3,723	3,850	3,850	3,850	3,850
活用を想定する補助制度等	地方消費者行政強化交付金（事業費の1/2）					
役割分担	大船渡市は、消費生活相談員のレベルアップを図るため、国が指定する研修へ参加させるとともに、事業に要する応分の費用を負担する。 住田町は、情報を共有し、消費者の被害拡大の未然防止に努めるとともに、事業に要する応分の費用を負担する。					
重要業績評価指標（KPI）	指 標	現状値 (H30)		目標値 (R6)		
	被害の未然防止のための啓発件数	6件		18件		

大船渡市 予算事業名	消費者保護対策事業
住田町 予算事業名	消費生活対策事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

(3) 結びつきやネットワークの強化

① 地域公共交通

【協定の内容】 交通ネットワークの維持・確保

取組の内容	圏域住民の日常生活における交通手段の確保を図るため、交通事業者などと連携しながら、利便性向上や効率化を踏まえた交通ネットワークの構築に向けて取り組む。
-------	---

【具体的な取組】

事業名	21 地域間幹線系統に係る地域公共交通確保維持事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	両市町間の地域間幹線として運行されているバス路線の中井線について、被災地域間幹線系統確保維持事業の終了を見据え、運行内容の効率化や利用者の増加を図る取組を推進する。					
期待される効果	相互の利便性を最大限に確保した交通事業者への要望や提案が可能となるほか、日常生活圏の拡大（市町間の通院・通学などの交通手段の確保）につながることで、バス利用者が増加し、赤字幅の削減による財政負担の軽減が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度等	地域公共交通確保維持改善事業費補助金(被災地域地域間幹線系統確保維持事業)、バス運行対策費岩手県補助金、地域バス交通支援事業費補助金、地域公共交通活性化推進事業費補助金					
役割分担	両市町は、各管内のバス路線の経路・便数の効率化を図り、市町間の住民の交通手段の確保に取り組む。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標	現状値 (H30)		目標値 (R6)		
	平均乗車密度(※1)	2.5人		4.0人		

大船渡市 予算事業名	広域生活バス路線維持支援事業
住田町 予算事業名	公共交通対策事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

※1 平均乗車密度

バスの利用状況を表す理論値で、バス路線の起点から終点までの1運行の1台当たりの平均乗客数を示す。

② 地域内外の住民との交流・移住促進

【協定の内容】 移住・定住の促進

取組の内容	圏域内からの人口流出を防止し、移住・定住人口の増加を図るため、圏域の情報発信やPR、交流・関係人口の拡大、結婚や子育て支援の強化などに向けて取り組む。
-------	---

【具体的な取組】

事業名	22 移住・定住促進事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	<p>移住コーディネーターを配置し、圏域内への移住・定住を促進するとともに、移住者などのネットワークを構築しつつ、移住後のフォローも含めた相談体制の強化に取り組む。</p> <p>両市町それぞれの特性を生かし、地域の活性化につながる関係人口の増加に向けて取り組む。</p> <p>また、それぞれが設置している空き家バンクについて、効率的な運営に向けて一元化を検討するとともに、内容の充実を図る。</p>					
期待される効果	圏域への移住・定住や地域との関わりを持ちたいと検討している人の選択肢を広げることにより、移住・定住人口及び関係人口の増加が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		9,996	7,029	7,029	7,029	7,029
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	両市町は、連携して相談・受入体制を強化するとともに、効率的な移住・定住関連施策の推進を図る。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標	現状値 (H30)		目標値 (R6)		
	短期移住等滞在者数	300人		500人		
	移住者数(累計)	12人		125人		

大船渡市 予算事業名	定住交流促進事業
住田町 予算事業名	つながり創出事業、関係人口創出事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	23 結婚相談・支援センター共同運営事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	結婚に関する悩みを抱える人や出会いの機会を求める人などを支援するため、婚活イベントの開催、会員同士のマッチング、結婚に関する相談などを行う。					
期待される効果	結婚支援体制の確保、マッチングの機会の増加、参加しやすい環境の整備により、圏域における結婚の促進が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	大船渡市は、支援拠点となる結婚相談・支援センターを開設し、運営の民間委託、広報などを通じた周知を行うとともに、センターの運営に要する費用を負担する。 住田町は、広報やケーブルテレビなどを通じた周知を行う。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標			現状値 (H30)	目標値 (R6)	
	結婚相談件数			90件	140件	
	婚姻件数			134件	153件	

大船渡市 予算事業名	結婚支援事業
住田町 予算事業名	結婚対策事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	24 気軽な出会いの場創出事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	企業・団体などと連携して大船渡市結婚相談・支援センターが事務局となって開設した社会人サークルの運営を支援し、婚活を意識せずに気軽に出会える場所を提供するとともに、社会人サークル会員の募集に係る周知などを行う。					
期待される効果	企業と連携して出会いの場・機会を提供することにより、結婚の促進が図られるとともに、企業や団体間の連携強化につながる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		0	0	0	0	0
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	<p>大船渡市は、結婚相談・支援センターと連携し、社会人サークルの会員及び結婚応援企業へ登録する企業の募集に係る周知などの支援を行う。事業に要する費用は、社会人サークルの団体会員からの会費を充てる。</p> <p>住田町は、結婚相談・支援センターと連携し、社会人サークルの会員及び結婚応援企業へ登録する企業の募集に係る周知などの支援を行う。</p>					
重要業績評価指標(KPI)	指 標			現状値 (H30)	目標値 (R6)	
	社会人サークルにおける交流人数			160人	327人	

大船渡市 予算事業名	—
住田町 予算事業名	—

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

(4) 圏域マネジメント能力の強化

① 圏域内市町の職員の交流

【協定の内容】 職員合同研修などの実施

取組の内容	圏域内の自治体職員の資質向上や育成を図るため、合同研修などの実施による圏域マネジメント能力の強化などに向けて取り組む。
-------	---

【具体的な取組】

事業名	25 これからの時代に活躍する人材育成事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	両市町職員を対象に共同で講義やグループワークを行い、社会情勢、これからの時代に求められる職員像、圏域行政のあるべき姿などについて理解を深める。					
期待される効果	自治体行政を支える人材育成、職員の意欲喚起、圏域マネジメントを意識した行政手法の共有が図られるとともに、両市町の自治体としての変革が促される。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		500	500	500	500	500
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	両市町は、共同で研修企画、準備、受講者確保、実施、評価を行うとともに、事業に要する応分の費用を負担する。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標	現状値 (H30)			目標値 (R6)	
	合同研修開催回数(累計)	0回			10回	

大船渡市 予算事業名	職員研修事業
住田町 予算事業名	職員研修事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【具体的な取組】

事業名	26 AI・RPA導入事業（※1・※2）					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	両市町において必要な情報を収集するとともに、それらの情報を共有した上で、より効果的な導入を図る。					
期待される効果	業務の効率化などが促進され、省力化で生じた人員・時間を付加価値の高い業務などに充てることができる。 また、働き方の見直しによる勤務時間数の縮減により、職員個々の事情に合ったワーク・ライフ・バランスの実現が図られる。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		3,043	3,000	3,000	3,000	3,000
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	両市町は、必要な情報を収集・共有し、より効果的なAI・RPAの導入を図る。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標			現状値 (H30)	目標値 (R6)	
	業務の縮減時間			—	令和2年度の検討を踏まえ設定	
	業務の削減経費			—		

大船渡市 予算事業名	行政事務OA化事業
住田町 予算事業名	AI・RPA導入業務改善推進事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

※1 AI

Artificial Intelligence の略で、人工知能のこと。

※2 RPA

Robotic Process Automation の略で、これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するもの。

【具体的な取組】

事業名	27 男女共同参画推進事業					
関係市町	大船渡市、住田町					
事業内容	<p>圏域における男女共同参画社会の形成を促進するため、両市町において策定している女性の活躍推進のための特定事業主行動計画の達成に努めるとともに、各種審議会などにおける女性委員の登用促進を図る。</p> <p>また、情報共有を図りながら、圏域住民向けの講座などを開催し、男女共同参画についての意識啓発及び普及に取り組む。</p>					
期待される効果	女性の活躍の推進、男女共同参画についての意識啓発が図られ、男女共同参画社会の形成が促進される。					
実施スケジュール	取組内容	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込(千円)		129	129	129	129	129
活用を想定する補助制度等	なし					
役割分担	両市町は、情報共有を図りながら、圏域住民と対象とした意識啓発に係る講座などを開催するとともに、開催に係る周知を図る。					
重要業績評価指標(KPI)	指 標			現状値 (H30)	目標値 (R6)	
	各種審議会などにおける女性委員の登用率			31.1%	40.0%	
	圏域住民を対象とした講座などの開催回数			0回	3回	

大船渡市 予算事業名	男女共同参画市民意識啓発事業
住田町 予算事業名	男女共同参画関連事業

※ 事業費見込は、現時点での連携市町の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

資料編

大船渡・住田定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱

(設置)

第1 定住自立圏構想推進要綱（平成20年12月26日付け総行応第39号総務事務次官通知）第6に規定する定住自立圏共生ビジョン（以下「ビジョン」という。）の策定又は変更に当たり、民間や地域の関係者の意見を広く反映させるため、大船渡・住田定住自立圏共生ビジョン懇談会（以下「懇談会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2 懇談会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) ビジョンの策定又は変更に関する事項
- (2) その他懇談会の目的を達成するために必要な事項

(組織)

第3 懇談会は、委員20人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 大船渡・住田定住自立圏形成協定に掲げる取組の内容に関連する分野の関係者
- (2) その他市長が必要と認める者

(任期)

第4 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5 懇談会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6 懇談会の会議は、市長が招集する。

- 2 懇談会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

(庶務)

第7 懇談会の庶務は、企画政策部企画調整課において処理する。

(補則)

第8 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

大船渡・住田定住自立圏共生ビジョン懇談会 委員名簿

(任期：令和2年1月7日～令和4年1月6日)

(敬称略 50音順)

	団 体 名	役 職	氏 名	備 考
1	住田町地域公共交通会議	委 員	泉 加代子	
2	世田米学童クラブ	指 導 員	小野 香江	
3	社会福祉法人住田町社会福祉協議会	事務局長	金野 千津	副会長
4	大船渡市地区公民館連絡協議会	会 長	金野 律夫	
5	大船渡市農業協同組合	営農部営農企画課長	紺野 明	
6	大船渡商工会議所	企画総務部次長	佐々木 晋	
7	住田町商工会	事務局長	佐藤 英司	
8	一般社団法人大船渡市観光物産協会	主 任	佐藤 敬生	
9	気仙地方森林組合	参 事	佐藤 忠	
10	一般社団法人未来かなえ機構	事務局長	佐藤 良	
11	一般財団法人大船渡市体育協会	事務局次長	白崎 陽彦	
12	住田町自治公民館連絡協議会	会 長	高橋 靖	
13	住田観光開発株式会社	取 締 役	千葉 孝文	
14	株式会社キャッセン大船渡	リテールマネージメント 担当	中村 純代	
15	一般社団法人邑サポート	代表理事	奈良 朋彦	
16	社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会	課長補佐	山崎 高範	
17	岩手県立大学	総合政策学部教授	山本 健	会 長